

## 長野市芋井軍足池並びにその周辺水田の植物相

永井茂富<sup>1</sup>・牛山孝佳<sup>2</sup>

2009年の4月から10月にかけて、長野県長野市芋井軍足池並びにその周辺水田で、植物相を調査した。その結果、生態系水路を中心に、多くの水生植物や湿性植物の生育が確認された。維管束植物は59科249種類であった。この中には長野県レッドデータブックに掲載されたものが11種類、更に、これまで長野県内では生育が未確認であった環境省絶滅危惧種の1種類（ノタヌキモ）が、それぞれ含まれていた。また、特定外来生物であるオオフサモの生育が県内で初めて確認された。

キーワード：水生植物，絶滅危惧種，ノタヌキモ，特定外来生物，オオフサモ

### 1. はじめに

2007年に公表された改訂環境庁版レッドリスト<sup>1)</sup>によると、絶滅危惧種に維管束植物の1690種類が指定された。これは日本産野生維管束植物の約24%に相当する。この中に水生植物は79種類が含まれ、これは水生植物全体の3分の1に相当する。このことから日本の水生植物の多くが、今、危機に瀕していることが推定される。

水生植物が消滅する最も大きな原因は開発による水域の干拓や埋め立て、改修工事による生育環境の消失、様々な排水の流入による水質の悪化、外来生物の侵入などが考えられている。

そんな中で、飯綱山麓の湖沼群の1つである軍足池（長野市）では逆に、今でも数多くの水生植物が生育している。軍足池は飯綱山の南側に位置し（標高約800m）、山麓からの湧水を堰き止めた人工的な農業用水池である。満水面積13,000㎡、貯水量27,000m<sup>3</sup>の規模を有し、灌漑する受益田面積は38haである<sup>2)</sup>。

ところが長年放置された結果、ヨシが大繁殖し、用水池としての機能が著しく低下した。そこで池の機能回復を図るための改修工事が、1997年から2000年にかけて実施された。池よりも水深の浅い水路（本工事では「生態系水路」と呼ばれている）を作ったこと、大繁殖した湿地のヨシを伐採したことなどがその主な施工内容である。

この改修の結果、水生植物や湿性植物の生育状況が改善する傾向が見られるようになった。しかし、

その詳細はこれまで十分に調査されていない。

そこで軍足池並びにその周辺水田の植物相の調査を行い、水生植物や湿性植物並びに絶滅危惧種や特定外来生物の生育状況も詳しく確認したので報告する。

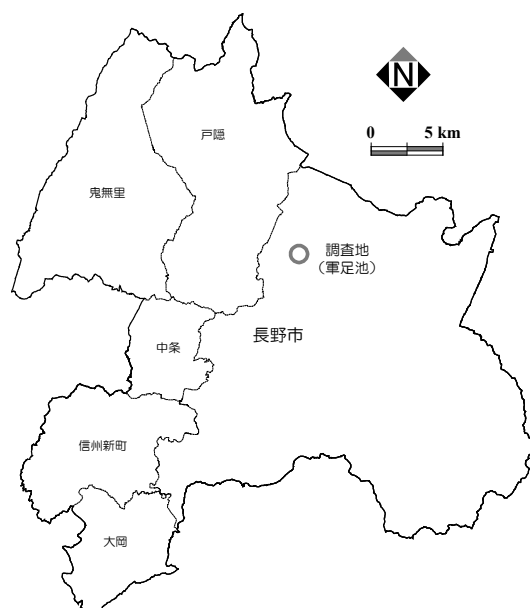


図1 調査地の位置

### 2. 調査地および方法

調査は長野市芋井軍足池とその周辺の水田で実施した（図1）。

調査地周辺の概要は次の通りである。軍足池は古くから飯綱山系の湧き水による湿地帯として存在してきたと推定される。

1 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野市北郷2054-120

2 〒381-2245 長野市三本柳東1-96-1

江戸時代、山間地である芋井地区周辺で急速に開田が進み、軍足池の湿地帯は用水源としての需要が高まった。しかし近年までこの地は、簡単に土砂を積み上げ、水を堰き止めた程度で利用されてきた<sup>2)</sup>。

近年の改修では、親水護岸、せせらぎ水路、生態系水路などの施設工事が実施された。その結果、湿地のヨシの繁殖が抑えられ、生態系水路、湿地を中心に、数多くの水生植物や湿性植物が生育するようになった。

植物相の調査は2009年5月から10月にかけて、毎月2回の計12回実施した。

調査地は池、生態系水路、湿地、草地、それに周辺の水田の5つの生育場所に区分した(図2)。1回の調査では半日(約4時間)かけ、5つの生育場所の区分全てを歩き、確認された植物種は全て採集・記録し、標本を作成した上で、同定し、植物目

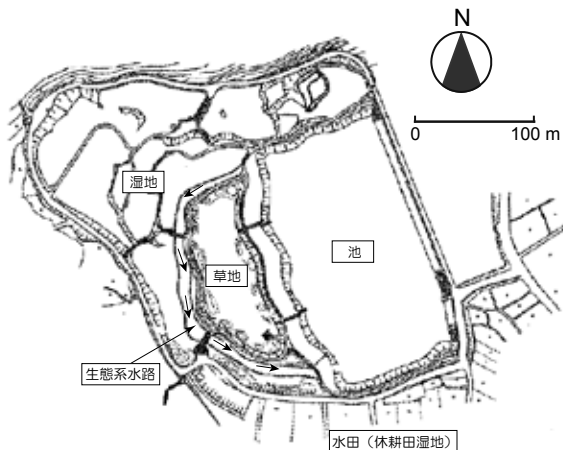


図2 軍足池並びにその周辺(広瀬地区軍足池開発委員会発行「広瀬ふれあい公園竣工記念誌」の水環境整備事業(県営)軍足池地区計画平面図(28p.)を使用)

録を作成した。植物の同定に際しての植物目録の和名、学名、科・属の配列等は「日本の植物図鑑(草本・木本)平凡社版」<sup>3), 4)</sup>に準拠した。

### 3. 結果と考察

#### 3.1 軍足池とその周辺の水田の植物相

確認された維管束植物は59科245種・4変種(長野県版レッドデータブック掲載種11種、環境庁版レッドデータブック掲載種1種、特定外来生物1種)であった(附表)。生育場所別では、池で19科29種類(長野県版レッドデータブック掲載種1種)、生態系水路で21科33種(長野県版レッドデータブック掲載種6種、特定外来生物1種)、周辺湿地で23科68種・1変種、周辺草地で41科154種・3変種、周辺水田が21科44種類(長野県版レッドデータブック掲載種4種)が確認された。

各生育場所別の植物相の特徴は表1の通りであった。

それによると、生態系水路にのみ生育していたものが4種類あったことや、池に生育していたもののほとんどが生態系水路の流入口付近だったことから、生態系水路を設置した効果が認められる。池の水深は1.5~3.0mと深いのに対し、生態系水路の水深は0.3~1.0mと浅いので、水生植物が生育しやすくなったと考えられる。

また、周辺の水田にのみ生育していた絶滅危惧種が5種類(長野県版レッドデータブック掲載種4種、環境庁版レッドデータブック掲載種1種)が確認されたことから、周辺の水田も貴重な生育場所であることが示されたと考えられる。

表1 生育場所別の生態の特徴

場所	植物相の特徴
池	池にのみ生育していたものは沈水状態で生育できる2種(ホザキノフサモ・コカナダモ)に限られ、他の種はほとんど生態系水路の流入口付近と湖畔の湿地にも生育していた。
水路	生態系水路にのみ生育していたものが4種(アシカキ・ヘラオモダカ・イヌタヌキモ・ミクリ)あった。生態系水路は全面が水生植物並びに湿性植物で覆われていた。また、特定外来生物であるオオフサモが案内板近くのハツ橋の下付近を中心に、水路の全面に生育していた。
湿地	池の西側湿地と休耕田湿地ではミソハギ類やクサレダマ・ヤチアザミ等の典型的な湿性植物が数多く確認できた。
草地	特筆すべき種は確認できなかったが、外来植物を含め、種の数は最も多かった。
水田	水田にのみ生育するものは15種と多かった。その中には、長野県の絶滅危惧種に指定されているものが4種あった。

3.2 確認された絶滅危惧種

絶滅危惧種では、表2の12種が確認された。このうち、環境省指定のノタヌキモ以外は全て長野県版レッドデータブックに掲載されている。ノタヌキモは文献上県内での記録がなく<sup>6), 7)</sup>、県内での初確認であると思われる。他にも、オヒルムシロ（ヒルムシロ科）、ヒツジグサ（スイレン科）、ミツガシワ（ミツガシワ科）などの水生植物または湿性植物が生態系水路並びに湿地で数多く確認できた。

除の対象に指定されている特定外来生物のオオフサモの生育も確認された。侵入経過は不明である。ホザキノフサモなどの在来の水生植物の生存を脅かしている可能性がある。

オオフサモ(アリノトウグサ科)(特定外来生物): 南米原産の帰化植物で、多年生の抽水植物。5月12日に、生態系水路で群生していた。一昨年のオオカワジシャに続き、今回、県内5種類目の特定外来生物として初確認された種である。

3.3 確認された特定外来生物

絶滅危惧種を多数確認した一方、外来生物法で駆

表2 確認された絶滅危惧種

和名 (科名)	長野県 絶滅危惧 カテゴリー	特徴及び生育状況
サンショウモ (サンショウモ科)	絶滅危惧Ⅱ類	一年草の浮遊植物。6月15日に生態系水路と池で確認した。
アシカキ (イネ科)	準絶滅危惧	多年生の湿性植物。生態系水路の岸で確認した。開花は10月4日に確認した。
イトトリゲモ (イバラ科)	絶滅危惧ⅠA類	一年生の沈水植物。8月20日に、周辺水田で確認した。生育地ではホッスモ(後述)と混生していた。ホッスモと異なり、葉鞘に耳状の突起がなく、種子が2列に付いていたことからホッスモと同定した。
ホッスモ (イバラモ科)	絶滅危惧ⅠA類	一年生の沈水植物。8月20日に周辺の水田で確認した。
アギナシ (オモダカ科)	絶滅危惧ⅠA類	多年生の抽水植物。7月30日に生態系水路で、8月23日に湿地で、それぞれ数株の生育並びにその開花を確認した。側裂片より頂裂片の方が長く花茎が直立し、小球芽も確認されたので、アギナシと同定した。
サワトウガラシ (ゴマノハグサ科)	絶滅危惧Ⅱ類	一年生の湿性植物。8月20日に周辺の水田の1ヶ所で確認した。
ジュンサイ (スイレン科)	絶滅危惧Ⅱ類	多年生の浮遊植物。5月12日に生態系水路と池の広い範囲に生育を確認した。
イヌタヌキモ (タヌキモ科)	準絶滅危惧	多年生の浮遊性沈水植物。5月12日に生態系水路のみで生育を確認した。開花は8月23日に確認した。
ノタヌキモ (タヌキモ科)	(環境省絶滅危惧Ⅱ類)	多年生の浮遊性沈水植物。暖帯性の種で、県内での生育が今回初確認された。葉の基部が3本の枝に分れ、それぞれがさらに立体的に枝分かれしていたことから、ノタヌキモと同定した。
ミズオオバコ (トチカガミ科)	絶滅危惧Ⅱ類	一年生の沈水植物。周辺の水田で確認した。
ミクリ (ミクリ科)	絶滅危惧Ⅱ類	多年生の抽水植物。5月12日に生態系水路と池の一部で生育を確認した。開花は6月15日に、果実は8月18日にそれぞれ確認した。
ミズマツバ (ミソハギ科)	絶滅危惧Ⅱ類	一年生の湿性植物。8月20日に、周辺水田で確認した。

## 謝 辞

本調査並びに植物目録作成については標本室ボランティアの伊藤静夫さん，戸谷由利江さん，小林香代子さん，牛山洋子さんらのご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

## 文 献

- 1) 環境省版レッドリスト（植物 I）維管束植物：  
[http://www.env.go.jp/press/file\\_view.php?serial=9947&hou\\_id=8648](http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=9947&hou_id=8648)（2010 年 1 月 1 日確認）
- 2) 長野県長野地方事務所・広瀬区軍足池開発委員会編（2003）広瀬ふれあい公園竣工記念誌。
- 3) 佐竹義輔他編（1985）フィールド版日本の野生植物（草本類），平凡社。
- 4) 佐竹義輔他編（1993）フィールド版日本の野生植物（木本類），平凡社。
- 5) 長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課編（2002）長野県版レッドデータブック維管束植物編。
- 6) 角野康郎（1994）日本水草図鑑，178pp. 文一総合出版，東京。
- 7) 長野県植物誌編纂委員会編（1997）長野県植物誌。1735pp. 信濃毎日新聞社。

## Flora of the Gundari pond and its adjacent paddy fields, Nagano City

Shigetomi NAGAI<sup>1</sup> and Takayoshi USHIYAMA<sup>2</sup>

- 1 Nagano Environmental Conservation Research Institute, Natural Environment Division,  
2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan
- 2 1-96-1 Sanbonyanagi-higashi, Nagano 381-2245, Japan

付表 軍足池ならびに周辺水田の植物目録

(その種が確認された環境は、池(A), 生態系水路(B), 湿地(C), 草地(D), 水田(E)に区分)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
イワデンダ科								
	イヌワラビ <i>Athyrium niponicum</i>				○			
	コウヤワラビ <i>Onoclea sensibilis</i>				○			
オシダ科								
	オシダ <i>Dryopteris crassirhizoma</i>				○			
コバノイシカグマ科								
	ワラビ <i>Pteridium aquilinum</i>				○			
サンショウモ科								
	サンショウモ <i>Salvinia natans</i>	○	○				II類	準
トクサ科								
	イヌスギナ <i>Equisetum palustre</i>	○	○	○		○		
	スギナ <i>Equisetum arvense</i>				○			
ヒメシダ科								
	ヒメシダ <i>Thelypteris palustris</i>			○				
アカザ科								
	シロザ <i>Chenopodium album</i>				○			
アカネ科								
	アカネ <i>Rubia argyi</i>				○			
	オオバノヤエムグラ <i>Galium pseudoasprellum</i>			○	○			
	ホソバノヨツバムグラ <i>Galium trifidum</i>	○		○				
	ヘクソカズラ <i>Paederia scandens</i>				○			
	ヤエムグラ <i>Galium spurium</i>				○			
アカバナ科								
	アカバナ <i>Epilobium pyrricholophum</i>	○	○	○		○		
	イワアカバナ <i>Epilobium montanum</i>			○	○			
	チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i>					○		
	ミズタマソウ <i>Circaea mollis</i>				○			
	メマツヨイグサ <i>Oenothera biennis</i>				○			
アブラナ科								
	イヌガラシ <i>Rorippa indica</i>				○	○		
	スカシタゴボウ <i>Rorippa islandica</i>				○	○		
	タネツケバナ <i>Cardamine flexuosa</i>				○	○		
	ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i>				○			
	ミチタネツケバナ <i>Cardamine hirsuta</i>				○			
アリノトウグサ科								
	オオフサモ <i>Myriophyllum brasiliense</i>	○	○					
	ホザキノフサモ <i>Myriophyllum spicatum</i>	○						
アワゴケ科								
	アワゴケ <i>Callitriche japonica</i>			○				
イグサ科								
	アオコウガイゼキショウ <i>Juncus papillosus</i>			○				
	イ <i>Juncus effusus</i>		○	○				
	クサイ <i>Juncus tenuis</i>				○			
	コウガイゼキショウ <i>Juncus leschenaultii</i>		○	○				
イネ科								
	アキエノコログサ <i>Setaria faberi</i>		○					
	アシカキ <i>Leersia japonica</i>		○				準	
	イヌビエ <i>Echinochloa crusgalli</i>					○		
	ウシノシツペイ <i>Hemarthria sibirica</i>				○			
	エノコログサ <i>Setaria viridis</i>				○			
	オオクサキビ <i>Panicum dichotomiflorum</i>					○		
	カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i>				○			
	カニツリグサ <i>Trisetum bifidum</i>				○			
	カモガヤ <i>Dactylis glomerata</i>			○				
	ギョウギシバ <i>Cynodon dactylon</i>				○			
	キンエノコロ <i>Setaria glauca</i>				○			
	コウボウ <i>Hierochloa odorata</i>				○			
	コスズメガヤ <i>Eragrostis poaeoides</i>				○			
	コブナグサ <i>Arthraxon hispidus</i>				○			
	ススキ <i>Miscanthus condensatus</i>				○			

(付表のつづき)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
	スズメノカタビラ <i>Poa annua</i>			○				
	スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i>				○			
	タイヌビエ <i>Echinochloa oryzicola</i>				○			
	チガヤ <i>Imperata cylindrica</i>				○			
	チヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i>				○			
	ナガハグサ <i>Poa pratensis</i>				○			
	ヌカキビ <i>Panicum bisulcatum</i>		○					
	ヒロハウシノケグサ <i>Festuca elatio</i>				○			
	ミゾイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i>				○			
	メヒシバ <i>Digitaria ciliaris</i>				○			
	ヨシ <i>Phragmites australis</i>	○	○	○				
イバラモ科	イトトリゲモ <i>Najas japonica</i>					○	IA類	準
	ホッスモ <i>Najas graminea</i>					○	IA類	
イラクサ科	アオミズ <i>Pilea mongolica</i>				○			
	アカソ <i>Boehmeria tricuspis</i>				○			
	ミズ <i>Pilea pumila</i>				○			
	ムカゴイラクサ <i>Laportea bulbifera</i>				○			
ウキクサ科	アオウキクサ <i>Lemna aoukikusa</i>	○	○			○		
	ウキクサ <i>Spirodela polyrhiza</i>	○	○			○		
	コウキクサ <i>Lemna minor</i>	○	○			○		
ウコギ科	ヤマウコギ <i>Eleutherococcus spinosus</i>				○			
オオバコ科	オオバコ <i>Plantago asiatica</i>				○			
	トウオオバコ <i>Plantago major</i>				○			
オトギリソウ科	オトギリソウ <i>Hypericum erectum</i>				○			
	コケオトギリ <i>Sarothra laxa</i>			○		○		
	サワオトギリ <i>Hypericum pseudopetiolarum</i>			○				
	ミズオトギリ <i>Triadenum japonicum</i>	○	○	○				
オモダカ科	アギナシ <i>Sagittaria aginashi</i>		○				IA類	準
	オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i>					○		
	へらオモダカ <i>Alisma canaliculatum</i>		○					
ガガイモ科	ガガイモ <i>Mataplexis japonica</i>				○			
カタバミ科	オッタチカタバミ <i>Oxalis stricta</i>				○			
	カタバミ <i>Oxalis corniculata</i>				○			
カヤツリグサ科	アゼガヤツリ <i>Cyperus flavidus</i>			○				
	アゼスゲ <i>Carex thunbergii</i>			○				
	アブラガヤ <i>Scirpus wichurae</i>		○	○				
	イヌホタルイ <i>Schoenoplectus juncooides</i>	○	○	○		○		
	カヤツリグサ <i>Cyperus microiria</i>		○	○		○		
	カンガレイ <i>Schoenoplectus triangulatus</i>	○	○					
	ゴウソ <i>Carex maximowiczii</i>		○	○				
	サンカクイ <i>Schoenoplectus triqueter</i>	○	○					
	ハリイ <i>Eleocharis congesta</i>			○		○		
	ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i>			○				
	ヒメクグ <i>Cyperus brevifolius</i>			○		○		
	ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i>			○				
	ヒメハリイ <i>Eleocharis kamtschatica</i>			○				
	フトイ <i>Schoenoplectus abernaemontani</i>	○						
	ホタルイ <i>Schoenoplectus hotarui</i>		○	○				
	ニシノホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i>				○			
	マツバイ <i>Eleocharis acicularis</i>			○		○		

(付表のつづき)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
ガマ科	ガマ <i>Typha latifolia</i>		○					
	コガマ <i>Typha orientaris</i>			○				
	ヒメガマ <i>Typha angustifolia</i>			○				
キキョウ科	ミゾカクシ <i>Lobelia chinensis</i>					○		
キク科	アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i>				○			
	アキノノゲシ <i>Lactuca indica</i>				○	○		
	アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i>	○	○	○	○	○		
	アメリカタカサブロウ <i>Eclipta alba</i>							
	オオアレチノギク <i>Erigeron sumatrensis</i>				○			
	オオアワダチソウ <i>Solidago gigantea</i>				○			
	オオブタクサ <i>Ambrosia trifida</i>				○			
	オニタビラコ <i>Youngia japonica</i>				○			
	キクイモ <i>Helianthus tuberosus</i>				○			
	コウゾリナ <i>Picris hieracioides</i>				○			
	ゴマナ <i>Aster glehni</i>				○			
	シナノタンポポ <i>Taraxacum platycarpum</i>				○			
	セイタカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i>				○	○		
	セイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i>				○	○		
	タウコギ <i>Bidens tripartita</i>							
	タカアザミ <i>Cirsium inundatum</i>				○	○		
	タカサブロウ <i>Eclipta thermalis</i>							
	チチコグサ <i>Gnaphalium japonicum</i>				○			
	ニガナ <i>Ixeridium dentatum</i>			○	○			
	ノコンギク <i>Tulotis ussuriensis</i>				○			
	ノハラアザミ <i>Cirsium oligophyllum</i>				○			
	ノボロギク <i>Senecio vulgaris</i>				○			
	ハキダメギク <i>Galinsoga ciliata</i>				○			
	ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i>				○			
	ハンゴンソウ <i>Senecio cannabifolius</i>			○	○			
	ヒメジョオン <i>Erigeron annuus</i>				○			
	ヒメムカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i>				○			
	フキ <i>Petasites japonicus</i>				○			
	メナモミ <i>Siegesbeckia orientalis</i>				○			
	ヤクシソウ <i>Youngia denticulata</i>				○			
	ユウガギク <i>Aster iinumae</i>				○			
キンポウゲ科	アキカラマツ <i>Thalictrum minus</i>				○			
	カラマツソウ <i>Thalictrum aquilegifolium</i>				○			
	ツクバトリカブト <i>Aconitum tsukubense</i>				○			
クワ科	カナムグラ <i>Humulus japonicus</i>				○			
	クワクサ <i>Fatoua villosa</i>				○			
ケシ科	クサノオウ <i>Chelidonium majus</i>				○			
	タケニグサ <i>Macleaya cordata</i>				○			
ゴマノハグサ科	アゼナ <i>Lindernia pyxidaria</i>					○		
	アメリカアゼナ <i>Lindernia dubia</i>					○		
	オオイヌノフグリ <i>Veronica persica</i>				○			
	コシオガマ <i>Phtheirospermum japonicum</i>				○			
	サワトウガラシ <i>Deinostema violaceum</i>				○		II類	
	アメリカアゼナ <i>Lindernia dubia</i>				○			
	タチイヌノフグリ <i>Veronica arvensis</i>				○			
	ムラサキサギゴケ <i>Mazus miquelii</i>				○			
サクラソウ科								

(付表のつづき)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
シソ科	クサレダマ <i>Aeschynomene indica</i>			○				
	コナスビ <i>Lysimachia japonica</i>				○			
	イヌトウバナ <i>Clinopodium micranthum</i>				○			
	オドリコソウ <i>Aconitum japonicum</i>				○			
	カキドウシ <i>Glechoma hederacea</i>				○			
	キラソウ <i>Ajuga decumbens</i>				○			
	クルマバナ <i>Clinopodium chinense</i>				○			
	コシロネ <i>Lycopus ramosissimus</i>		○	○				
	ニガクサ <i>Teucrium japonicum</i>				○			
	ハッカ <i>Mentha arvensis</i>	○		○				
	ヒキオコシ <i>Isodon japonicus</i>			○	○			
	ヒメジソ <i>Mosla dianthera</i>				○			
	ヒメシロネ <i>Lycopus maackianus</i>		○	○	○			
ヒメナミキ <i>Scutellaria dependens</i>			○					
スイレン科	ジュンサイ <i>Brasenia schreberi</i>	○	○				II類	
セリ科	ヒツジグサ <i>Nymphaea tetragona</i>		○					
タデ科	ウマノミツバ <i>Sanicula chinensis</i>				○			
	オオチドメ <i>Hydrocotyle ramiflora</i>			○	○			
	オオバセンキュウ <i>Angelica genuflexa</i>				○			
	シンウド <i>Angelica pubescens</i>				○			
	セリ <i>Oenanthe javanica</i>			○		○		
	セリモドキ <i>Dystaenia ibukiensis</i>				○			
	ドクゼリ <i>Cicuta virosa</i>	○	○	○				
	ノダケ <i>Angelica decursiva</i>				○			
	ミツバ <i>Cryptotaenia japonica</i>				○			
	アキノウナギツカミ <i>Persicaria sieboldii</i>		○	○	○			
	アレチギシギシ <i>Rumex conglomerates</i>				○			
	イスタデ <i>Persicaria longiseta</i>			○	○	○		
	エゾノギシギシ <i>Rumex obtusifolius</i>			○	○			
オオイスタデ <i>Persicaria lapathifolia</i>			○	○				
オオツルイタドリ <i>Fallopia dentatoalata</i>				○				
ギシギシ <i>Rumex japonicus</i>			○					
ケイタドリ <i>Reynoutria japonica</i>				○				
サクラタデ <i>Persicaria conspicua</i>			○		○			
スイバ <i>Rumex acetosa</i>				○				
タニソバ <i>Persicaria nepalensis</i>				○				
ハナタデ <i>Persicaria posumbu</i>				○				
ママコノシリヌグイ <i>Persicaria senticosa</i>				○				
ミズヒキ <i>Antenoron filiforme</i>				○				
ミゾソバ <i>Persicaria thunbergii</i>			○					
ヤノネグサ <i>Persicaria nipponensis</i>		○	○		○			
タヌキモ科	イスタヌキモ <i>Utricularia australis</i>		○				準	
	ノタヌキモ <i>Utricularia aurea</i>					○	準 II類	
ツツラフジ科	アオツツラフジ <i>Cocculus orbiculatus</i>				○			
ツユクサ科	イボクサ <i>Murdannia keisak</i>			○		○		
	ツユクサ <i>Commelina communis</i>				○			
ツリフネソウ科	キツリフネ <i>Impatiens noli-tangere</i>			○				
	ツリフネソウ <i>Impatiens textori</i>			○				
トウダイグサ科	エノキグサ <i>Acalypha australis</i>							
	トウダイグサ <i>Euphorbia helioscopia</i>							



(付表のつづき)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
	ナツトウダイ <i>Euphorbia sieboldiana</i>							
トチカガミ科	コカナダモ <i>Elodea nuttallii</i>	○						
	ミズオオバコ <i>Ottelia japonica</i>					○		
ナデシコ科	オランダミミナグサ <i>Cerastium glomeratum</i>				○			
	ナンバンハコベ <i>Silene baccifera</i>				○			
	ミミナグサ <i>Cerastium holosteoides</i>				○			
	フシグロセンノウ <i>Silene miqueliana</i>				○			
ノブドウ科	ノブドウ <i>Ampelopsis brevipedunculata</i>				○			
バラ科	キンミズヒキ <i>Agrimonia pilosa</i>				○			
	ナワシロイチゴ <i>Rubus parvifolius</i>				○			
	ノイバラ <i>Rosa multiflora</i>				○			
	へビイチゴ <i>Duchesnea chrysantha</i>				○			
ヒシ科	ヒシ <i>Trapa japonica</i>	○						
ヒユ科	イノコズチ <i>Achyranthes bidentata var. japonica</i>				○			
ヒルガオ科	ヒルガオ <i>Calystegia japonica</i>				○			
ヒルムシロ科	オヒルムシロ <i>Potamogeton natans</i>	○	○					
	ヒルムシロ <i>Potamogeton distinctus</i>	○				○		
フウロソウ科	ゲンノショウコ <i>Geranium thunbergii</i>				○			
ホシクサ科	イトイヌノヒゲ <i>Eriocaulon desemflorum</i>	○		○				
	ヒロハイヌノヒゲ <i>Eriocaulon robustius</i>	○		○		○		
マメ科	アカツメクサ <i>Trifolium pratense</i>				○			
	イタチササゲ <i>Lathyrus davidii</i>				○			
	カスマグサ <i>Vicia tetrasperma</i>				○			
	クサフジ <i>Vicia cracca</i>				○			
	クララ <i>Sophora flavescens</i>				○			
	シロツメクサ <i>Trifolium repens</i>				○			
	シロバナシナガワハギ <i>Melilotus alba</i>				○			
	スズメノエンドウ <i>Vicia hirsuta</i>				○			
	ツルフジバカマ <i>Centella asiatica</i>				○			
	ヌスビトハギ <i>Desmodium podocarpum</i>				○			
	ミヤコグサ <i>Lotus corniculatus</i>				○			
	メドハギ <i>Lespedeza juncea</i>				○			
	ヤハズエンドウ <i>Vicia angustifolia</i>				○			
	ヤブハギ <i>Desmodium podocarpum</i>				○			
ミクリ科	ミクリ <i>Sparganium erectum</i>	○	○				II類	準
ミズアオイ科	コナギ <i>Monochoria vaginalis</i>					○		
ミソハギ科	エゾミソハギ <i>Lythrum salicaria</i>	○	○	○				
	キカシグサ <i>Rotala indica var. dissectum</i>			○		○		
	ミズマツバ <i>Rotala pusilla</i>					○	II類	II類
	ミソハギ <i>Lythrum anceps</i>	○	○	○				
ミツガシワ科	ミツガシワ <i>Menyanthes trifoliata</i>	○						
ムラサキ科								

(付表のつづき)

科名	種名 学名	環境					絶滅危惧カテゴリー	
		A	B	C	D	E	長野県	環境省
	キュウリグサ <i>Trigonotis peduncularis</i>				○			
ヤナギ科								
	イヌコリヤナギ <i>Salix integra</i>				○			
	コゴメヤナギ <i>Salix serissaefolia</i>				○			
	シダレヤナギ <i>Salix babylonica</i>				○			
	タチヤナギ <i>Salix subfragilis</i>				○			
	ネコヤナギ <i>Salix gracilistyla</i>				○			
	ヤマネコヤナギ <i>Salix bakko</i>				○			
ヤマノイモ科								
	ヤマノイモ <i>Dioscorea japonica</i>				○			
ユキノシタ科								
	チダケサシ <i>Astilbe microphylla</i>				○	○		
ユリ科								
	ナルコユリ <i>Polygonatum falcatum</i>				○			
	ノビル <i>Allium grayi</i>				○			
	ヤブカンゾウ <i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>				○			
ラン科								
	ネジバナ <i>Spiranthes sinensis var. amoena</i>				○			